

平成21年度病害虫発生予報第12号(3月予報)

今月のトピックス

はんしんいちょうびょう

半身萎凋病 (リアトリス)

学名 : *Verticillium dahliae*



発生圃場の様子



健全株(左)と発病株(右)



球根内部の褐変



分生子柄と分生子



培地上で形成された菌核

生態と被害

本病は土壌病害で、症状は初め下葉が黄化し、上位葉に進展する。株は次第に生育が衰え、萎凋枯死する株も見られる。茎葉や球根の維管束は褐変する。病徴の進展は遅いため枯死するまでに数か月かかる。罹病作物体上で形成された多数の微小菌核は土壌中に残り、10年以上生存する。微小菌核や感染した球根が次作の主な感染源となる。

本菌は糸状菌の一種で分生子と微小菌核を生じる。分生子は楕円形で無色、単胞、大きさ4～6μm、微小菌核は暗褐色、大きさ34～111×30～78μmである。

多犯性でナス科のトマトやピーマン、キク科のキクやダリア、ウリ科のキュウリやメロンなど多くの植物に感染する。

<http://www3.pref.okinawa.jp/site/view/cateview.jsp?cateid=119>